

まちを守る！ 僕らのヒーロー



今月の表紙



今月の表紙は、消防車の前で、爽やかな笑顔を見せてくれた東海消防署のお二人です。猛暑の中でも、消火訓練では防火服を着用。地域の安心を支えるため、日々訓練を重ねています。

いざという時のために

まちで見かける消防車や救急車。それに乗って働く消防士はどんな仕事をしているのでしょうか。消防士は、火事や救急の119番通報を受けて出動し、消火活動や救助活動・救急活動を行っています。そのほかにも、訓練や点検、広報活動など、幅広い業務があります。ひとたび通報が入れば、地域の皆さんを1秒でも早く助けるために素早く出動します。そして、通報があったときに万全な体制で出動できるように、消防士は、今日も準備を怠りません。

消防車って格好良い

消防車のサイレンが聞こえると、その姿を思わず目で追ってしまふ。消防訓練で小学校や保育園・幼稚園にきた消防車にわ

くわくしてしまう。幼い頃、あの赤い車を見たときに「消防車って格好良い」と感じたことがあるのではないのでしょうか。消防士は、スポーツ選手や警察官と並んで、小学生男子が将来就きたい職業の上位にランクインしています。消防士に憧れる子どもが多いのは、消防車の格好良さに心を奪われているからなのかもしれません。

将来就きたい職業(小学生男子)

1 ネット配信者	6 消防士
2 警察官	7 会社員
3 野球選手	8 医師・歯科医師
4 運転士・運転手	9 学校の教員
5 サッカー選手	10 研究者

出典▽学研教育総合研究所「小学生白書2025年」

みんなの消防士

青色やオレンジ色の服を着て働く消防士は、消防車や救急車に乗って現れる、まさに「ヒーロー」。消防士は、いつでもどんな状況でも助けられるように、日ごろから厳しい訓練を行っています。また、現場で使う道具の点検も欠かせません。

地域を守るために働く消防士。今号では、消防士の格好良さや、その想いに迫ります。

"いざという時"を支える 車両や装備

空気呼吸器の中身はなに？

火事が起きたときでも、普段と同じように呼吸ができるよう、空気が入っているよ。

消防士の服って、こんなに重い！

防火服やヘルメット、空気呼吸器を身につけると、約20キログラムにもなるよ。



救助隊：交通事故や火災など、危険な場所でも救助活動をするよ。

消防隊：火災が起きた時に出勤して、消火活動をするよ。

ホースの長さはどのくらい？

1本の長さは、約20メートル。火元まで届くように何本もつないで使うよ。

水の出し方が変えられる！？

ホースの先に取り付ける筒先は、火災の状況に合わせて放水する水の形を変えられるよ。

スクープストレッチャーは二つに割れる!?

身体を動かすと症状が悪くなる可能性がある人を左右からすくい上げることで、負担をかけないように運ぶことができるよ。

救急隊：病気やけがをしている人に適切な処置をして病院に搬送するよ。

救急車の中をのぞいてみよう

AEDや酸素ボンベ、心電図モニターなどを使って応急処置をしながら、急いで病院へ運ぶよ。

密着24時！ 消防士の1日

消防士は、24時間勤務。東海消防署では、3つの班に分かれて、交代で働いています。車両や道具の点検、火災・救助・救急の現場を想定した訓練など、私たちの命や財産を守るために奮闘する消防士の1日をのぞいてみましょう。

消防士のある1日

- 08：30 大交替
ミーティング
- 09：00 車両・資機材点検
訓練
- 12：00 昼食・休憩
- 13：00 ミーティング
訓練、消防検査
- 17：15 夕食・休憩
- 18：15 車両点検
事務処理
入浴
- 22：00 夜間勤務
仮眠（6時間）
- 06：00 起床
車両点検・清掃
- 08：30 大交代



大交代



救助訓練



資機材点検



救急訓練



資機材点検



消火訓練

緊急指令 が入ればすぐに出勤！



①車両に乗り込み出勤！

③感染予防服を着用して

②少しでも早く救助者の元へ...

①指令が入れば即行動



消防士としての誇り"助けたい"想い



消防副士長
近藤 彩音さん



消防士は、まだまだ男性が多い職場です。しかし、私は性別にとらわれず、一人の消防士として、誇りを持って仕事をしています。そんな私は、高校生のときに、かつて人を助ける救命士の姿に憧れたことを、ふと思い出しました。それ以来、人の命を救う仕事をしたと思うようになり、大学在学中に救急救命士の資格を取りました。

消防士になって2年目の頃、搬送する病院がなかなか決まらないことがありました。傷病者も家族も不安だったと思いますが、少しでも和

声かけで、心に寄り添う

らげられるように声をかけ続けました。後日、「母に寄り添って声をかけてもらえてうれしかったです」という手紙が届きました。特別なことをしたわけではありませんが、私の対応が安心につながったこと、それを伝えてくれたことが本当にうれしかったです。この時の手紙は、私の支えの一つとして、今でも大切に持っています。



消防副士長
阿部 竜斗さん



力をつけて、安心させる

小学2年生の時に東日本大震災がありました。私の周りが通常の生活に戻っても、東北ではまだ被害が残っている。助けに行かないと、という思いでボランティアに参加して、石巻市に行きました。そこで出会った救助隊の方は、小学3年生だった私にとつて、とても頼もしい存在でした。それからずっと消防士になりたくて、突き進んできました。

消防士は地域の皆さんの命と財産を守る仕事です。危険と隣り合わせでもあります。訓練から本気で向き合



ことで、地域の皆さんはもろろん、自分や仲間の命も守る。そんな仕事にとてもやりがいを感じています。

助けを求める人は、いつも『誰かの大切な人』です。助けに行ったときに、安心感を与えられる存在であり続けられるように、日々の訓練にも全力で挑んでいきます。



一人でも多くの人を救うために

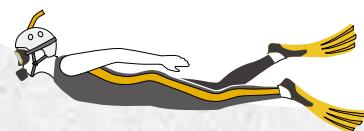
幼い頃、家族を助けてくれた救急隊の方々に憧れて消防士になりました。

消防士になってからは、火災や交通事故など、たくさん現場を経験してきました。その度に思うことは、一人でも多くの命を救いたいということ。その思いが原動力となり、できることを増やそうと、消防士に必要なあらゆる知識を身に付けたり、潜水士の資格を取ったりしました。

消防副士長
芳賀 文汰さん



災害が起きたというニュースを見ると、すぐにでも助けに駆け付けたくります。実際に行くことができないものどかしさはありますが、もしものときに備えて日々訓練を重ね、要請があればいつでも救助に向かえるように自分を鍛えていきたいです。



未来の消防士のヒーローになりたい



消防士
市毛 星也さん



小学生の頃、消防署見学で「消防車って格好良いな。消防士ってヒーローみたいだ」と思い、消防士に憧れました。大学時代には学生消防隊というサークルに加入して、被災地でボランティア活動をしました。そこで人のために働く消防士の姿を見て、改めて「格好良いな」と感じて、消防士への想いを新たにしました。

消防士になってからは、日々どうしたら救えるのかを考えています。毎朝、チームでシ



ミュレーション訓練を行い、人を救うための知識や技術を高めて、いつあるとも分らない出勤に備えています。

もっと多くの人を助けられる消防士になって、次は私が誰かのヒーローになれたら最高ですね。